

つながる



コミュニティ・スクール事業が新聞に掲載されました

小学部、中学部、高等部の交流及び共同学習やボランティアを活用した活動などが東奥日報新聞に掲載されましたので、紹介します。

つがる

森田養でXマス会 プレゼントに笑顔

つがる市の県立森田養護学校で18日、小学部の児童32人を対象にしたクリスマス会が開かれた。アミューズメント施設「モーリーファンタジーつがる柏店」の運営会社「イオンファンタジー」のキャラクター・ララちゃんが登場。子どもたちはプレゼントをもらってクリスマス気分を味わった一写真。

ララちゃんは元気なリスの女の子で、訪問は地域貢献活動の一つだという。子どもたちはララちゃんと一緒に簡単な踊りをしたり、クリスマスにちなんだクイズに参加したりして楽しんだ。5年生の福田哲也君は「プレゼントには自由帳、パズル、折り紙、鉛筆が入っていた。早速、自由帳に絵を描きたい」と喜んでた。(長内健)

小学部 令和5年12月20日(水) 掲載

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

森田養護中学部 森田中生徒

ポッチャで交流深める

つがる

つがる市の県立森田養護学校中学部の生徒24人がこのほど、森田養護学校でポッチャを通じた共同学習を行った。交流を深めようと毎年実施。仲間を思いやりながら試合を楽しんだ。

ポッチャは、赤と青の球を投げ合って目の目標球にどれだけ近づけるかを競う。各チームは自己紹介してチームをアピールしてから試合に入った。

森田養護中学部の生徒も、自分の球も仲間の球も目標球に近づけたかどうかで一言「愛」「ナイス」。「嬉しい」と面をかける生徒も見られた。

森田養護中学部3年で生徒会長を務める海田未来さんは「森田中の生徒たちと仲良く取り組めたい」と、笑顔で話した。森田中の鍋屋球統さんは「ポッチャは授業で覚えたばかりだったけれど、初めて接する森田養護の生徒たちと話をしながら試合が楽しかった」と話した。(長内健)

中学部 令和5年11月5日(日) 掲載

絵を描くこと楽しんで

つがる

つがる市の県立森田養護学校で8日、平川市住のアーティスト・GOMAさんの開催、授業は午前、午後に分けて行われた。

高等部の生徒40人は「絵を描くのが好きな子もいるからぜひ、言葉や作品にも思いが刺さる」。

手でものでもいい。描くのを手伝った。GOMAさんから指導を受ける。作品が完成すると、GOMAさんから「素晴らしい」といふ言葉をもらって、生徒も嬉しそうに話した。

【写真上】GOMAさんと会話を楽しむ生徒たち【同下】約1時間で出来上がった一部生徒のユニークな作品

高等部 令和5年12月12日(火) 掲載